

【単元を貫く問い】 家族に学校の出来事をより分かりやすく伝えるにはどのような新聞がよいだろうか。

この単元と関連した領域の付いている力(◆)と内容(・)

[第1学年及び第2学年]

- ◆長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ（「」）の使い方を理解して文や文章の中で使うこと。また、平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使っている。
- ◆自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。

本単元の目標

学びに向かう力、人間性等

これまで学習したことを振り返って学習課題を明確にし、学習の見通しを持って、粘り強く書く内容の中心を明確にし、文章の構成を考えて、新聞を作ろうとしている。

単元終了時のめざす児童の姿

- ・読み手を意識して、文章の表現の仕方を考えている姿。
- ・相手や目的に応じて、書く材料の収集や選択の仕方、まとめ方などを工夫し、読み手の興味を引く見出しの立て方や割付けの工夫などを行う姿。
- ・グループで互いが気付きや知恵を出し合い、磨き合って、相手や目的に応じた新聞を作ろうとする姿。

知識及び技能

漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解している。

思考力・判断力・表現力等

- ア 相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。
- イ 書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をついたり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。

この単元からつながっている領域の付きたい力(◆)と内容(・)

[第5学年及び第6学年]

- ◆文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書いている。
  - ◆筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。
- [中学校第1学年及び第2学年]
- ◆書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。
  - ◆伝えたいことが分かりやすいように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫している。

他教科との関連

- ・総合（防災新聞）（情報収集）
- ・社会（単元のまとめ）

家族に向けて学校での出来事を伝える新聞を書く

言語活動

【1時間】  
問い単元のゴールに向かうためにこれからどんな学習が必要だろうか？

- 単元のゴールを確認し、学習計画を立てる。

- ◆「家族に学校の出来事を色々と伝えるにはどのような方法があるだろう。」
- ・単元のゴールを確認する。
- ・家族に学校の出来事でどんなことを伝えたいか考える。

【主①】

【7時間】  
問い読み手により分かりやすく伝えるにはどんな工夫が必要だろうか？

- 新聞を書く際の工夫を見つける。
- ◆「新聞にはどんな工夫や良さがあると思いますか。」【思⑤】

- 新聞に書きたい記事に合った情報を集める。
- ◆「どんな情報があると、家族に興味をもってもらえるかな。」【思④】

- 集めた情報から記事にする内容を選び、見出しや写真も考える。
- ◆「集めた情報の中から、なぜその内容を選んだのですか。」【思①】

- 読み手が分かりやすい文章の構成を考える。**本時**
- ◆「どんな文章の構成にすると家族は読みやすいかな。」【思②】

- 決めた割り付けや文章の構成を基に新聞を書く。
- ◆「家族に伝わりやすい新聞にするためにどんなことに気を付けて新聞を書きましたか。」【主②】

- よりよい新聞にするために自分達の書いた新聞を推敲する。
- ◆「よりよい新聞にするために、修正したところがありますか。」【思③】

- それぞれのグループで新聞の清書を完成させる。
- ◆「これまでに考えた工夫を使って清書を完成させましょう。」【知①】

【1時間】  
問い他の班の新聞にはどんな良さがあるだろうか？

- 仕上がった新聞を他の班と読み合い、どんな良さがあるのか見つける。

- ◆「他の班の新聞を読んでみて、どんな良さがありましたか。」

- ・他の班と書いた新聞を読み合う。
- ・見つけた良さについて交流する。
- ・単元を振り返る。
- ・付けた力がこれからどんな場面で生かせるか考える。

【思③】

働かせている児童の姿  
見方・考え方を

- ・前学年で学習した「調べて書こうわたしのレポート」という単元では、読み手に分かりやすいレポートを書くために、見出しや写真にこだわって書くなど、これまでにつけた力について想起している姿。

- ・実際の新聞や教科書の新聞から、工夫や良さを見つけている姿。
- ・読み手の興味を引く新聞を書くために、見出しや文章の構成について考えている姿。
- ・記事を書くために集めた情報の中から、どの情報を記事に書くか吟味する姿。

- ・他のグループの新聞と自分達のグループの新聞を比べながら読み、自分達のグループに取り入れたい良さなどを見付け交流している姿。

評価規準

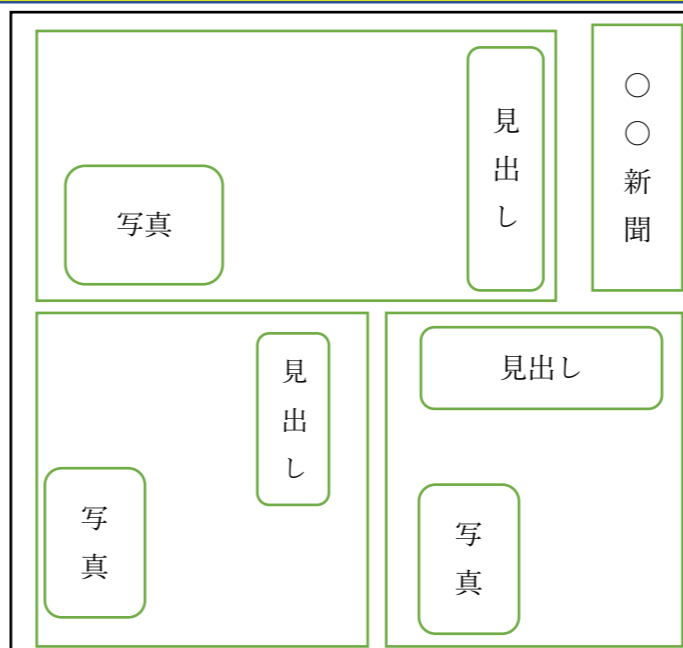
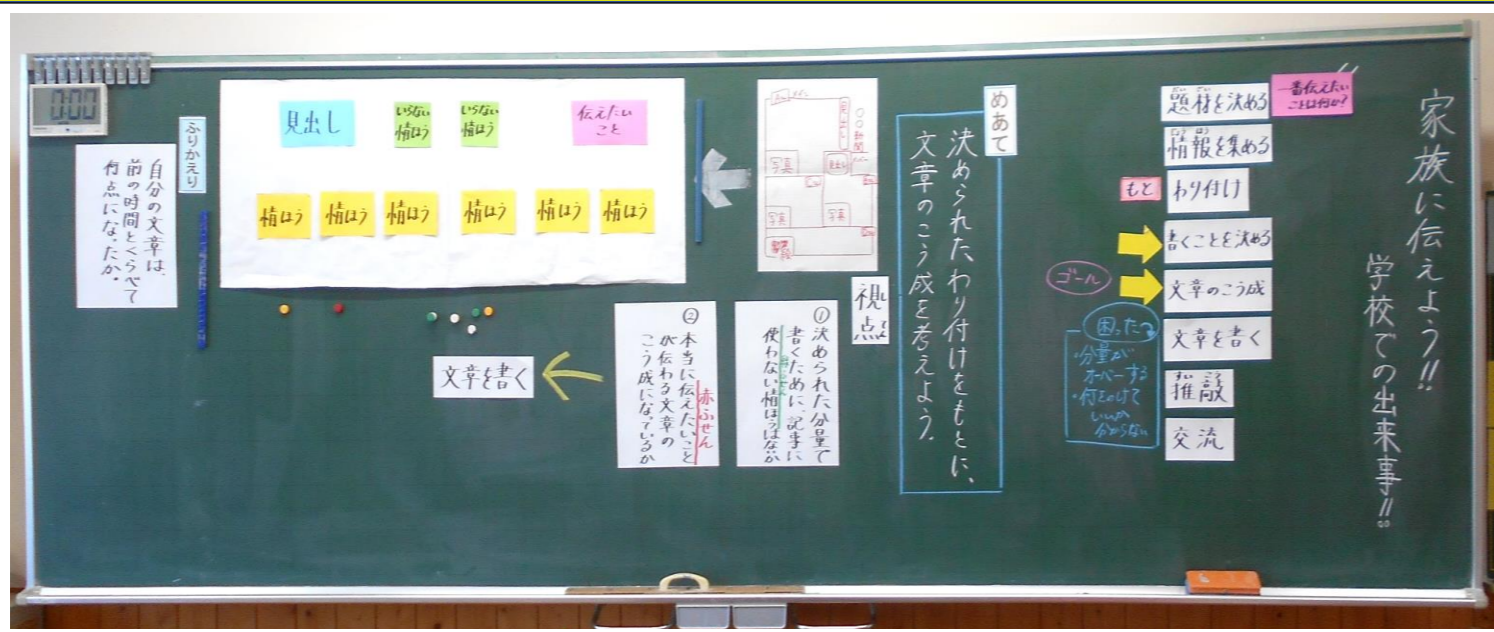
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解している。	①相手を意識して、経験したことから書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。 ②書く内容の中心を明確にし、文章の構成を考えている。 ③書こうとしていることが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合っている。 ④書きたいことに合った情報を集め、その中から必要な情報をグループで話し合いながら選んでいる。 ⑤見本から新聞のよさや工夫を見つけ、説明している。	①学習の見通しを持って、単元のゴールに向けて意欲的に取り組もうとしている。 ②粘り強く書く内容の中心を明確にし、文章の構成を考えながら、新聞を作ろうとしている。

児童の実態と指導観

本学級の児童は昨年度1月に行われた「標準学力調査」において、「情報と情報との関係について理解し、内容の中心を明確にして書く」問題の正答率が61%と、目標値は上回っているもののあまり高くない数値となっている。また、「相手や目的を意識した表現になるように、文章を整える。」問題の正答率も目標は越えているものの48%と半数以下であることから、本単元では、新聞を書く活動を通して、単元を通して、相手意識と読み手にどんな反応をしてもらいたいのかという事を常に意識させながら、指導していきたい。また、文章の構成を考える際には、読み手が分かりやすい新聞を書くための割り付けや文章の構成についてこだわって問い直すようにしていきたい。

【本時の目標】 グループで伝えたいことが伝わる文章の構成を考えることができる。(5/9)

【本時における見方・考え方】 伝えたいことが伝わる新聞を書くために、文章の構成についてこだわって考えている。



◎主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習過程の工夫

単元の導入時に、新聞を読んだ家族にどんな反応をしてほしいかイメージさせ、新聞を書く際には、常に家族の反応を意識させることで、子どもの本気の学びを引き出すようにする。また、授業の中で自分の考えについて、グループで話し合う活動を取り入れることで、対話を通して、自分達の書いた新聞をより良いものにできるような活動を設定するようにする。

◎教科の見方・考え方を働かせて課題解決させる手立て

自分の伝えたいことを明確に持たせ、選んだ写真や情報、見出しが、伝えたいこととつながっているのか、より良いものはないのかくり返し考えさせることで、言葉にこだわる姿勢を大切にしていきたい。

前時の振り返り・本時のめあての共有

個人・グループ活動(構成の検討・記述)

全体共有(再考)

まとめ・振り返り

T 今、皆さんは家族に向けて学校のことを知らせる新聞を作っていますねどこまで進んでいますか。  
C 文章の構成が終わって、記事を書き始めました。  
C 文章の構成が終わったところです。

T 前回の最後に皆さんが困っていたことはどんなことですか。  
C 文章は書けたけど、文字数がオーバーしてしまう。  
T では、今日は何かから始めないといけませんか。  
C もう1度文章の構成に戻って、文に書く情報を考えないといけません。

めあて 割り付けをもとに、文章の構成を考えよう。

T 文章の構成を考える時に気をつけないといけなことはどんなことですか。  
C 分量を意識して構成を考えないといけな。  
C 伝えたいことが伝わる構成を意識しないといけな。

〔指導上の留意点〕

・前時の困り感から、文章の構成を考える必然性を持たせ、本時へとつなげるようにする。

T では、2つの視点に沿って、グループで話し合いを始めてください。  
C 文章の初めには、いつ、どこで、誰が、何をしたかが必要だから・・・  
C 写真は文章の最後に載せようかな。  
C 取材したことと、自分の感想はどちらを書くべきかな。

○○○さんの記事は、総合の学習で南海大地震について調べて調べたことを書いているから、その結果は必ずいるね。  
C 僕は、家族にしたインタビューも入れるべきだと思うよ。  
C 自分の感想は抜いてもいいかもしれないね。

〔指導上の留意点〕

・事前に迷っているところを考えさせておき、グループで話し合う際にそこについて話し合えるようにさせる。

T 文章の構成ができた所から、本当に記事の分量は適切か書いてみて下さい。

C 私たちのグループでは、○○さんの南海大地震について自分の考えを先に書くのか、調べたことを先に書くのかで話し合いました。話し合いの結果、先に自分の考えを書いて、その後になぜそう思ったのか、理由として、今まで調べて分かったことを書いたらいいと思うという意見があって、その方が家族に分かりやすいなと思って、その順番で書くことに決めました。

C 僕たちのグループでは、体力テストの結果を先に書くか、後に書くかで話し合いました。始めは、最初に結果を載せることで、見る人の目を引くという意見もあったけど、やっぱり、最後にした方が読む人に分かりやすいんじゃないかという意見が多く、僕も納得したので、体力テストの結果は最後に載せること事になりました。

〔指導上の留意点〕

・構成ができた所から、記述に入らせることで、それぞれのグループに合った進度で学習を進めるようにする。

T 今日の授業を振り返って、文章の出来栄は何点くらいになりましたか。また、それはなぜですか。

C 僕は30点から80点になりました。理由は分量を考えて構成を考えたので、割り付けた記事にぴったり収まる文章になったからです。  
C 私は40点から90点になりました。文章の構成を入れ替えたことで、より家族に伝わりやすい文章になったと思うからです。

<本時で目指す児童の姿>

記事の中に割り付けた分量通りの文章にするには、どんな文章の構成がいいのか、伝えたいことを明確にしながらグループで吟味する姿

〔指導上の留意点〕

・本時の学習を振り返り、次の時間の見通しまで持たせるようにする。

書く内容の中心を明確にし、文章の構成を考えている。[思考・判断・表現] (新聞・ふり返り)